

# あいち病害虫情報 最新情報

平成27年7月17日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 台風の後、好天か？

7月16日、名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。平年に比べ晴れの日が多く、平均気温は高い確率50%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

ほ場での病害虫の発生状況をよく観察し、天候を考慮に入れて、的確な防除を心がけましょう。

## いもち病

葉いもちの発生量は、7月上旬の巡回調査では平年並です。このため、平年並の時期に梅雨が明ければ、穂いもちの発生はやや少ないと予測します。いもち病の発生状況等については、本日発表の「いもち病（葉いもち）情報第3号」を参考にしてください。

## 斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類の7月上旬の発生量は、水田内では平年並、畦畔雑草ではやや少ない状況ですが、ミナミアオカメムシは、水田内では過去6年と比較して最も多い状況です。防除適期である穂揃期の防除を心がけましょう。詳細については、本日発表の「斑点米カメムシ類情報第2号」を参照してください。

## ウンカ類

セジロウンカは、7月上旬の巡回調査で、県内全域で発生を確認しました。発生量はやや多い状況です。トビイロウンカは、予察灯では誘殺されていませんが、7月上旬の巡回調査で、ほ場での生息を認めました。発生状況等については、本日発表の「ウンカ情報第2号」を参照してください。

## モモせん孔細菌病

せん孔細菌病が台風等の風雨により急増する心配があります。収穫予定日まで余裕がある発生ほ場では、収穫前日数に注意して防除しましょう。周辺に収穫時期にあたる作物がある場合は、農薬の飛散に十分注意してください。

## 果樹の病害

ナシ黒星病の発生が一部のほ場で目立ちます。台風等の風雨により増加が心配されますので、発生ほ場では伝染源となる発病葉や発病果を除去して適切に処分しましょう。農薬による防除をする場合は7月3日発表の「平成27年度発生予察注意報第1号」を参考にしてください。

モモ灰星病は、収穫期以降に降雨が続いた期間がありますので、十分警戒してください。万一発病果を見つけたら、直ちにほ場から持ち出して適切に処理しましょう。発生を認めた場合は、防除しましょう。

ブドウでは、7月の曇雨天と台風等の風雨によりべと病の増加が心配されます。早期発見に努め、必要に応じて防除しましょう。

収穫時期に近い作物、品種があります。農薬散布に当たっては、当該のほ場の収穫予定日のみならず、周辺にあるほ場の収穫時期も考慮して、収穫前日数及び農薬の飛散に十分注意して下さい。

## ナシヒメシンクイ

ナシヒメシンクイは、7月上旬調査ではモモの被害果率は平年並、フェロモントラップにおける誘殺数は平年並の状況です。誘殺ピーク時期は、おおむね平年並です。7月以降は、本虫がナシ果実に食入する重要な時期になります。成虫の発生ピークから6日後頃が防除適期になるので、フェロモントラップの誘殺状況を参考に、適期防除を心がけましょう。また、交信かく乱剤（コンフューザーNなど）を設置しているほ場で、7月以降に再度設置する予定がない場合は、収穫期間中に効果が低減し、被害が出る可能性があります。今後の発生動向に十分注意し、適期防除を心がけましょう。

## チャノキイロアザミウマ

チャノキイロアザミウマの第4世代成虫の発生ピークは、名古屋7月23日、大府7月24日、豊田7月26日、愛西7月27日、蒲郡7月28日、岡崎、豊橋7月29日、南知多、伊良湖7月30日、新城8月1日と予測します。また、稲武では第3世代成虫の発生ピークは7月31日と予測します。発生ピーク予測日を目安にして、ほ場を観察し適期防除に努めましょう。ブドウ、カキ及びウンシュウミカンの防除薬剤については、7月1日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第3号」を参照してください。

## 果樹カメムシ類

予察灯及びフェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、少ない状況が続いています。

現在、チャバネアオカメムシはスギ・ヒノキ球果を餌として生育していますが、台風通過前後は強風によって一時的に果樹園に飛来することがありますので、飛来状況に注意しましょう。

## トマト苗へのタバココナジラミの寄生を防ぎましょう！

トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介するタバココナジラミが露地で活発に活動する時期です。トマト栽培が周年化している産地では、育苗時におけるTYLCVの感染防止が重要です。タバココナジラミに効果のある粒剤を施用するとともに、侵入防止対策として、育苗施設の施設開口部に防虫ネット（目合い0.4mm以下）を設置しましょう。

## オオタバコガ

オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数はおおむね平年並ですが、豊川市では、6月中旬以降、平年より多く推移しています。ほ場での発生状況に注意し、早期発見、早期防除に努めましょう。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室  
TEL 0561-62-0085 FAX 0561-63-7820